

News Release

岩谷産業株式会社 広報部

東京本社 〒105-8458 東京都港区西新橋3-21-8 TEL. (03) 5405-5851
大阪本社 〒541-0053 大阪市中央区本町3-6-4 TEL. (06) 7637-3468

2023年7月20日

2025 大阪・関西万博において

国内初となる水素燃料電池船の旅客運航が決定！

岩谷産業株式会社（本社：大阪・東京、社長：間島寛、資本金：350億円）は、2025年に開催される大阪・関西万博に協賛し、中之島ゲートから大阪・関西万博の会場となる夢洲をつなぐ航路で、国内初となる水素燃料電池船の旅客運航を行うこととなりました。

運航は京阪グループの大阪水上バス株式会社（本社：大阪、社長：奥村茂之、資本金：1億円）に委託する方向で進めています。

今回の水素燃料電池船は、2021年に国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の助成事業として採択されており、従来の内燃機関船と違い、走行時にCO₂や環境負荷物質を排出しない高い環境性能を有するだけでなく、におい、騒音、振動のない優れた快適性を実現します。

デザインはカーデザイナーとして世界的に有名な山本 卓身氏が手掛けており、水素の先進性を訴求すべく、未来を感じられる斬新なデザインとなりました。本船は海上の「動くパビリオン」と位置付けており、大阪・関西万博会場までの移動を特別な体験に変え、水素エネルギーの魅力を世界に発信することを目指します。

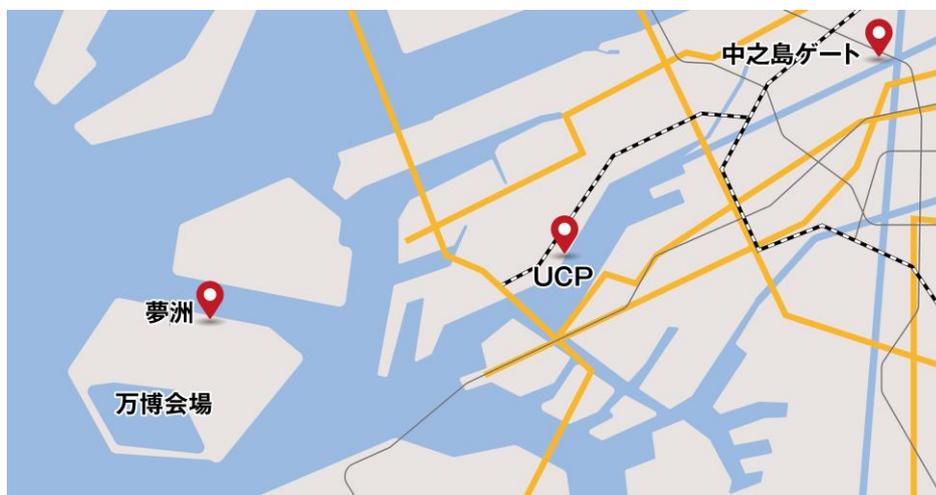
<水素燃料電池船の外観>



Iwatani

航路は、川船と海船が行き来し水都大阪構想の重要な拠点となる中之島ゲートから大阪有数の観光スポットの近傍に位置するユニバーサルシティポート（UCP）を經由し、大阪・関西万博会場となる夢洲をつなぐ運航ルートを設定しています。

<運航航路（予定）>



当社は、1941年に水素の取り扱いを開始して以来、製造から輸送・貯蔵・供給・保安まで一貫した全国ネットワークを築いてきました。水素のリーディングカンパニーとして、これまで培ってきた技術やノウハウを活用し、水素燃料電池船を運航することで世界各国からの来場者に水素エネルギーの魅力を感じていただくとともに、大阪・関西万博を盛り上げる一助となれればと考えています。今後とも水素エネルギー社会の実現に向けた取り組みを進めてまいります。

<水素燃料電池船の概要>

サイズ	全長30m × 全幅8m	総トン数	約120トン
定員	150名	船速	10ノット（およそ時速20km）

<山本 卓身氏>

フランスを拠点にカーデザイナーとして活動開始。プジョー・シトロエンのコーポレーション&アドヴァンス・スタジオやスティル・シトロエンで、市販車やコンセプトカーなどのデザインを担当する。

2017年Takumi YAMAMOTO設立。「デザインで、人と未来を幸せに。より良い世界をデザインする」をモットーに、スプーンから空飛ぶ自動車、そして船舶まで幅広いプロダクトデザインをプロデュースしている。

<過去の関連リリース>

[水素燃料電池船と船舶用ステーションの開発を開始 NEDO助成事業に採択、大阪・関西万博等での商用化を目指す \(iwatani.co.jp\)](https://www.iwatani.co.jp)